



社労士のつぶやき(91) 有害な光線とサングラス(労働安全衛生規則第 593 条)

昨年 12 月下旬。朝起きて顔を洗うと、ん？右眼が痛い。鏡を覗くと真っ赤に充血していました。眼医者に行くと、先生から「昨晚飲み過ぎましたね」と言われ「いや、いつもより控え目です。何で急に・・・」と不安そうに聞くと、「老化です」と笑顔でバツサリ。言い返しもできず、目薬をもらって帰りました。しかし翌日から視界が白く濁り、激しい痛みが続ききました。年明けようやく開いた眼医者に行くと、今「大きな病院を紹介します」と深刻な顔つき。現在ようやく治りかけていますが、この間ずっと失明の恐怖との闘いでした。病名は今も不明です。しかし、老化と眼の酷使が原因であることは間違いないでしょう。私の場合、パソコン作業に加えて太陽光線、紫外線 (UV-UltraViolet) だと思われます。

●サン・プロテクション

一般的に、女性に比べ男性は UV に鈍感だと言われています。その典型が私です。スクーターでの移動が多いにも関わらず日焼け対策を行わなかったため、50 代半ばにして顔にシミ (老人性色素斑) ができました。適度 (15 分程度) な日光浴は殺菌効果があり健康に良いですが、過度になると様々な障害を起こします。その一つが眼です。大部分の UV は角膜や水晶体がフィルターとなって吸収しますが、強い UV は網膜に届いて日焼け (炎症) し悪化すると白内障の原因になるのです。

環境省は 2003 年から紫外線保健指導マニュアルを作成し、UV の効果とリスク、季節や地域差などを分かりやすく紹介して UV 対策の啓発活動に努めています。ただ如何せん、学校教育用のため、労働者について殆ど言及がありません。太陽光を浴びる仕事は建設業労働者だけでなく、実に様々です。特にドライバーの眼は、1 年中紫外線を浴びています。比較的に紫外線が弱い冬でさえ太陽の位置が低く、眼に光線が直接飛び込んできます。

世界では今、「サン・プロテクション (太陽紫外線防御)」の考え方が広まっています。しかし日本では、色の識別ができなくなる、何よりも見た目が悪い等々の理由で、サングラスの着用を認めていない (雰囲気) の事業所は多い。しかし、UV は「有害な光線」であることは間違いありません。労働安全施行規則では、有害な光線に対する保護具の着用を義務づけています。せめて運転中は OK とかの基準を作って従業員の眼の健康を守るようにしていく必要があります。

社労士事務所アジュール 高龍弘

燃料カードの価格表【2024 年 2 月分】

AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	158.0 円
ハイオク	168.0 円
軽油	140.0 円

【価格は税抜】

ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	159.0 円
ハイオク	169.0 円
軽油	133.0 円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	152.9～154.9 円	154.7～156.7 円	153.3～155.3 円
ハイオク	162.9～164.9 円	164.7～166.7 円	163.3～165.3 円
軽油	128.9～130.9 円	133.2～135.2 円	131.4～133.4 円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	ENEOS ウイング	FLEX & TRUST カード (Shell)	TRUST & FLEX カード (出光)	エネクスフリー
レギュラー	152.2～154.2 円	154.8～156.8 円	155.4～157.4 円	150.6～152.6 円
ハイオク	162.2～164.2 円	164.8～166.8 円	165.4～167.4 円	160.6～162.6 円
軽油	127.1～129.1 円	133.3～135.3 円	128.6～130.6 円	128.6～130.6 円

【価格は税抜】